備陽史探訪の会

2015（平成27）
行事案内
7月号

備陽史探訪の会の目的

備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。

（会則第１章第２条より）

7月・8月行事日程一覧

7月4日（土）【ぶら探訪32】（要申込）
「大門町の南部を歩く」

7月26日（日）【歴史講演会】
「備後国宮氏の研究」

8月2日（日）【発行記念講演会】
「備陽史研究『山城志』第23集発行記念講演会１」

8月2日（日）【懇親会】（要申込）
「暑気払い！ in　月見櫓」

8月23日（日）【バス例会】（要申込）
「国宝・松江城と城下町をじっくりめぐる」

8月30日（日）【発行記念講演会】
「備陽史研究『山城志』第23集発行記念講演会２」

7月11日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
7月18日（土）【中世史部会】「中世を読む」
7月24日（金）【古文書講座】「古文書入門」
7月25日（土）【古代史部会】「古墳講座」
8月8日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
8月22日（土）【古代史部会】「古墳講座」
8月28日（金）【古文書講座】「古文書入門」

◎「近世福山を読む」は6月から午前9時45分～に変更になっております。場所は従来通りです。お間違えなきようにお願いします。

◎7月の「中世を読む」はワークショップです。持参するものがありますので、最終頁の部会案内欄で確認してください。

事務局便り

◇7月の「中世を読む」はワークショップ♪な、な、なんと！相方城の模型登場～（の予定！）これを見ながら、実際に鳥瞰図を描いてみるそうです。講師は、会報で「カンタン山城鳥瞰図」を連載してくださった山岡氏です！講義は「難しくて～」と日頃敬遠されてる方もこの機会にぜひ！絵心ある方もそうでない方も、ワイワイ楽しんでみましょう～☆☆☆筆記具忘れずに！
◇行事案内7月号は『備陽史研究「山城志」第23集』と同封です。今回もハイグレードな内容になってますが、いずれも興味深い内容ではないでしょうか。リレー講演も行いますので、ぜひ、ご参加ください。1回目の講演会の後にはみんなで「暑気払い！（懇親会）」開催！ふるってご参加ください。

行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

◎公式サイトの参加申込フォーム
「http : bingo-history.net」
◎事務局へメール
[info@bingo-history.net]
◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net

備後歴史研究会新聞

第２号

ぶら探訪と会報でお馴染みの岡田さん、またまた注目です！

先月配布の会報１８４号の編集後記で、こっそり「街歩きの達人」岡田宏一郎さんの事をコメントしました。６月６日のぶら探訪31「尾道歩きパート４」もご参加の皆さん、いかがでしたでしょうか。

さて、岡田さんといえば、会報にも毎回興味深い記事を掲載されておりますが、このたび、ある記事が注目されました。

会報１８０号の「尾道の力石と沖神社」です。

力石を研究されている四日市大学の教授の方から会報の注文があったのです。（会報は１部１００円で販売しております。一般の方に無料配布はしておりませんので、ご注意を）

実はこれまでも、他県の方から時々こういう注文が入っておりました。（誰の記事か失念しましたが、いずれも地元の事を書いた記事についてです）

注文は公式サイトからが多いのですが、会報掲載記事は、様々な方法で様々な人に目にとまるようになっているのです！

岡田さんは「いや～お恥ずかしい」とか言いそうですが、実際、研究者にとっては、どんな小さなネタでも、これまで出てない情報、ネットで検索しても出てこない情報は、とっても価値があると思うんですよね。

そういう意味でも、皆さん臆せず、どんどん地元のコトを発表してほしいと思います。

実は、別所砂留の秘話もアリ!?

秋には広島県初の土木遺産に登録されるかもしれない「別所砂留」。（土木学会のメンバーが視察に訪れた記事が5月29日の中国新聞に載ってましたね。写真参照してください。まだ推薦のみですけどね。）

実は、これにも、当会がちょっぴりからんでいるんですヨ！

ある日突然、岡山大学の教授が「別所砂留」について尋ねてこられました。当会の公式サイトの記事を見たからでした。こんなすばらしい遺構があるなら、日本の近代土木遺産に加えたい！とのことでした。

もちろん、簡単なご紹介のみで、コンタクトなどは地元の方にバトンタッチしました。近代土木遺産の冊子でＡランクの評価がつき、今回のこの土木遺産推薦へとつながっていくわけです。

当会では、ほんのちょっとのとっかかりを提供しただけですが、地元のすばらしい遺産が広く紹介され、認知されていくお手伝いができるのは、嬉しいことですね。

備後歴史研究会新聞では、地元の歴史についての会員さんのさまざまな活動報告を募集してます！こんなことしてるヨ！の方はぜひご一報を！紹介させていただきます！

別所砂留 土木遺産推薦へ

福山で学会支部視察

江戸期のダム技術力を評価

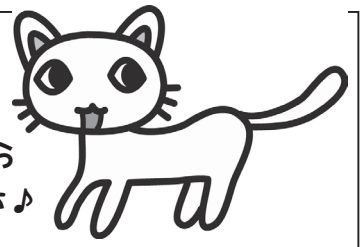
土木学会中国支部のメンバーが28日、福山市芦田町福田の「別所砂留」を視察した。別所砂留は江戸期、福山藩が土石流を防ぐために造ったとされる。同学会の選奨土木遺産の新たな候補として、同支部の選考委員会が近く本部に推薦するという。視察したメンバーは「自信を持って推薦できる」と話した。認定されれば、福山市では初となる。（衣川圭）

砂留の石積みを視察する土木学会中国支部のメンバーたち

7 月 4 日(土)　ぶら探訪 32

大門町の南部を歩く

要申込



【集　合】
①午前８時２０分　福山駅改札口前
（８時４３分発のＪＲ岡山行きに乗車します）
②午前９時　大門駅前広場

【参加費】　100 円（会員）　　300 円（一般）
【募集数】　４０名
【講　師】　種本　実（近世近代史部会）
【見学地】
金毘羅さん　古土手跡、厳島神社、春日神社、光円寺、専光寺など
☆光円寺では江戸時代に作庭された池泉観賞式庭園を、高名な造園学者である故・重森三玲氏に師事された方に解説をしていただきます

【その他】
※雨天決行
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※正午頃に大門駅南で解散の予定です

昨年は大門町の北部を歩きましたので、パート２として今回は南部を訪ねます。往古は海面だった大津野湾は江戸時代から陸地化が進み、さらに約半世紀前から当時の日本鋼管（株）の進出によって臨界工業地帯、住宅密集地へと変貌してきました。今も残る汐留堤防の跡や、寺社を訪ねて祭礼行事及び、寺歴などからありし日の村落の姿を偲んでみたいと思います。

7 月 26 日(日)　特別歴史講演会

「備後国宮氏の研究」

戦国時代まで備後最大の勢力を誇った宮一族。戦国争覇の中で毛利氏に敗れ、歴史の表舞台から消えていきました。この戦国ロマンに溢れた宮氏興亡の有様を、新たに発見された史料を基に、今までとは違った切り口で会長に語ってもらいます。ご期待ください。

講師　田口　義之　氏
（備陽史探訪の会　会長）

【時　間】　午後２時～３時半
【場　所】　県立ふくやま草戸千軒ミュージアム地下講堂
（広島県立歴史博物館・福山市西町）
【参加費】　無料
※申込不要。直接会場で受付します。
先着 300 名

びんご歴史クイズ 12

① 備後最大の現存古墳は？
イ）二子塚古墳　　ロ）辰の口古墳
ハ）イコーカ山古墳　ニ）猪の子古墳

② 南朝忠臣として吉野神宮に祀られているのは？
イ）阿部正福　　ロ）水野勝貞
ハ）桜山慈俊　　ニ）山名理興

③ 水野時代の土木奉行ではない人は？
イ）神谷治部　　ロ）遠藤弁蔵
ハ）本荘重政　　ニ）小場兵左衛門

③ 初代福山市長阿武信一は何市長と呼ばれた？
イ）水道市長　　ロ）土木市長
ハ）お祭り市長　ニ）教育市長

8月2日(日)・8月30日(日) 発行記念講演会

備陽史研究『山城志』第23集発行記念講演会

備陽史研究『山城志』第２３集の発行を記念し、同誌に掲載された論考・研究ノート・報告書について執筆者の方に研究内容を概説していただきます。今回も素晴らしい研究が多く集まりましたので、２回に分けて開催！講演時間はひとり30～40分ですので、興味とご都合にあわせてお気軽にご参加ください。暑い夏は涼しい部屋で熱い研究発表をお楽しみください。

【日　時】 8月2日（日）　午後１時～３時
8月30日（日）　午後１時～３時

【場　所】 県立ふくやま草戸千軒ミュージアム
地下講堂
（広島県立歴史博物館・福山市西町）

【参加費】 無料
※申込不要。直接会場で受付します。

8月2日(日)（午後１時～
１人あたり約40分）

1．福山における初期の干拓史について
　　消された福山沖新田の謎に迫る
（田中伸治）

2．高山城跡総記（末森清司）

3．銀山城と杉原氏
（田口義之）

8月30日(日)（午後１時～
１人あたり約30分）

1．阿部正教「日記」
（根岸尚克）

2．正保絵図（備後国福山城絵図）に
　　描かれている堤の位置について
（瀬良泰三）

3．大東宇山城跡（仮称）測量調査報告
（坂本敏夫）

4．杉原信平の嫡流に関する一考察
　　杉原信平と杉原盛平の関係を中心として
（木下和司）

両日とも、備陽史探訪『山城志』第23集に掲載された内容についての発表ですので、冊子をご持参ください。

暑気払い（懇親会）

講演会終了後に、福山城月見櫓で「暑気払い（懇親会）」を開催します。振るってご参加ください。
◆午後４時00分～（講演会終了後）
◆福山城月見櫓２階座敷
◆参加費2,000円
◆募集人数50名
◆要予約。当日の申込は不可。
（飲み物・お弁当準備のため）

要申込

備陽史研究『山城志』第23集発行！

1冊1,200円
（郵送の場合は別途郵送料がかかります）

※会員には１家族１冊ずつ無料配布します。
（７月行事案内に同封します。）
※8月末まで、２カ月間限定で
会員様１冊1,000円の特別価格にて
販売します。お買い求めはお早めに！

■特集（１）備後国人杉原氏
◎銀山城と杉原氏（田口義之）
◎杉原信平の嫡流に関する一考察
―杉原信平と杉原盛平の関係を中心として―（木下和司）
■特集（２）福山沖新田の謎
◎正保絵図（備後国福山城絵図）に描かれている
堤の位置について（瀬良泰三）
◎福山における初期の干拓史について
―消された福山沖新田の謎に迫る―（田中伸治）
《研究ノート》
◎古志元清の厳島神社寄進の太刀について（矢田貞美）
《史料紹介》
◎阿部正教「日記」（根岸尚克）
《山城レポート》
◎大東宇山城跡（仮称）測量調査報告（坂本敏夫）
◎高山城跡総記（末森清司）
《紀行文》
◎東海道五三次ゆったり歩き（赤坂から四日市）（岡田宏一郎）

8 月 23 日(日)　**バス例会**　**要申込**

祝・尾道松江線 全線開通企画 第２弾！

「国宝」松江城と 城下町をじっくりめぐる

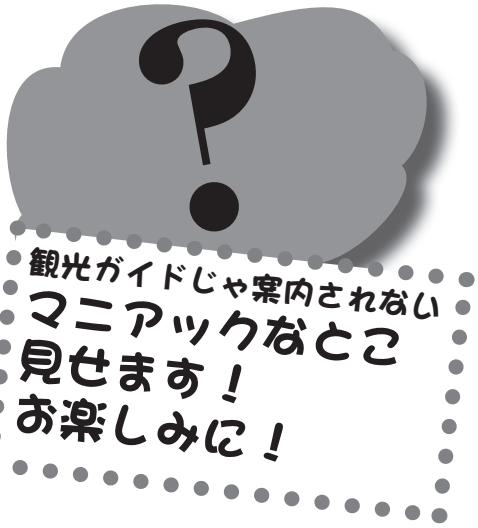
国宝への登録が決まった松江城を中心に
近世の面影の残る松江城下を巡ります。

松江城は福山城と非常に似た経緯で築城されています。
中世からの山城を捨て、水辺の平野部に新たに構築される一連なる丘陵の先端部を掘り切って分断し、その頂上に５重の天守がそびえる。水運が重視され、計画的に配置された城下町。この両者を比較しながら近世城郭発展の歴史を探求するとともに、観光ガイドではほとんど案内されないマニアックな見どころ含めてご案内します。また、江戸時代の雰囲気の残る城下北部を中心に埋もれかけた歴史的事件の痕跡などを発見したいと思います。

【集　合】 午前８時
福山駅北口観光バス乗り場※雨天決行
【参加費】 4,500 円（会員） 5,000 円（一般）
【募集数】 44 名
【講　師】 田中　伸治（近世近代史部会）
【その他】
※弁当・飲み物は持参してください。歩きやすい服装でご参加ください。。
※午後６時頃に福山駅北口帰着予定。

塩見縄手と武家屋敷

【主な見学地】
- 床几山（松江城選定の地）
- 松江城
- 塩見縄手（侍町）
- 武家屋敷
- 島根大学旧奥谷宿舎
- 桐岳寺（佐陀川を開削した清原太兵衛の墓）
- 小泉八雲記念館
- 佐陀川



バス例会のキャンセルについて
３日前のキャンセルはキャンセル料は不要ですが、３日から２日前のキャンセルは参加費の半額、当日のキャンセルは参加費の全額を申し受けます。

備陽史探訪の会

古代史部会

「古墳講座」（第 362 回）

◆7月 25 日（第 4 土）午後7時～
◆福山市民参画センター
◆講師　網本善光（当部会長）
【内容】「東アジア激動の 6 世紀を考える」

◆8月 22 日（第 4 土）午後7時～
◆福山市民参画センター
◆講師　網本善光（当部会長）
【内容】「吉備の群集墳を考える」

※資料代 100 円が必要です。

中世史部会

「中世を読む」（第 305 回）

◆7月 18 日（第3土）午後2時～
◆福山市民参画センター
◆講師　山本祐佳
【内容】「鳥瞰図の描き方」
相方城の鳥瞰図を描く予定です！相方城の模型鋭意制作中！これを見ながら実際に描いてみましょう！
※筆記用具・紙を持参してください。紙はノート、コピー用紙、スケッチブック何でも構いません。
※資料代は無料です。

☆８月の「中世を読む」はお休みです。

近世・近代史部会

「近世福山を読む」（第 29 回）

◆7月 11 日（第2土）午前9時 45 分～
◆講師　高木康彦（部会長）
◆福山市民参画センター
【内容】「福山城下町」鍛冶屋町・府中町・下魚屋町
※前月資料の残り分から始めます。（6 月度資料をご持参ください）

◆8月8日（第2土）午前9時 45 分～
◆講師　高木康彦（部会長）
◆福山市民参画センター
【内容】「福山城下町」大黒町・今町・笠岡町

※参加費無料。但し一般の方は 100 円が必要です。
※ 6 月より午前 9 時 45 分～に時間が変更になっています。お間違えなきように。

古文書講座「古文書入門」

初回のみ 要申込

◆7月 24 日（金）（第4金）午後 7 時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「相方村城主有地殿先祖覚」

◆8月 28 日（金）（第4金）午後 7 時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「相方村城主有地殿先祖覚」

※参加費無料。
但し新しいテキスト（古文書）に入る時、テキスト代が必要となります。
（300円～500円程度）

ぼっちぼっち進んでます。笑いあり、ツッコミありの学習会です。

会報 185 号原稿募集！

８月発行の会報 185 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。5月 16 日（月）までに事務局編集部まで。規定は 16 文字× 120 行。（論文・論考は 16 文字× 244 行程度）

備陽史探訪の会

【事務局】
〒720-0824　広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX　084-953-6157
E-mail　info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net